

●里山農園 24日 イノシシの侵入 防護柵の補強行方。

先週に侵入が判明しましたので、深田理事長が翌日点検に出かけ網の補強を行いました。また侵入箇所は一か所で、出口もあって、防護鉄網は合計2か所壊されているとのこと。金曜日には、再度点検して壊され場所は足元がしっかりした、比較的平らな場所でした。大きな穴を掘って侵入しています。防護網は役割をしっかりと果たしています。網に欠陥は見当たりません。結局掘り返して作った網の下の穴が出入り口のようなので、壊された網の補修と二度目は掘り返されないように地面に網を敷きました。続いて、網に近づけないように50cm程話して斜めの網を立て掛けました。これで防護網に近づけなくなりました。二つの対策を試みましたが、効果が上がっているのを期待しています。先週号で、草刈りを実施して、全面的な防護柵の強化を呼びかけましたが、少し新対策の効果を見ることにしました。

●カヌーで下ろう 二日目 26日 9時30分京田辺市 近鉄鉄橋出発

とてもいい天気 遅刻者待ちで予定より40分遅れでスタート。近鉄鉄橋からのスタートで6艇の乗組員が出発しました。今回新たな試みとして、木津川は松尾芭蕉が以前に川下りをしているので、仮装して川を下ることにしました。カップ研究会の楠田さんが二人乗りに乗り込んでいただきました。このコースでは木津川で最も新しい橋の下を通過します。新名神高速道路が木津川をまたいでいます。来年には工事が完成しているのではないかと思います。出発に遅刻された方がおられて、約40分前に家を出ておられるのだから、待つてあげましょうという暖かい声があつて遅らせましたが、途中の停滞もあって、最終的には午後、合流するという事で少し予定遅れての出発となりました。それで12時過ぎには昼食予定の御幸橋に到着でしたが、12時30分になりました。先着していた宇治川の一寸法師さん、桂川の淀君が待ちくたびれていました。昼食もそこそこに、カヌー教室と野鳥観察の皆さんと集合写真を撮って出発しました。ゴールでは予定の15時を超えて16時20分でした。点野の船着き場では地元の河川レンジャーや寝屋川水辺クラブの皆さんが風の強い中大歓迎をいただきました。風が冷たくなってきていたので。お湯を沸かして温めてくださったコーヒーでおもてなしをいただきました。暖かっておいしかったです。

三日目 27日 寝屋川市点野船着き場出発 昨夜からの降雨の中出発 見送りに寝屋川水辺クラブのメンバーと河川レンジャーの皆さんが昨日に続いてお越しいただきました。三日目は5時に起きて、カヌーを点野に下ろし、引き続いて大阪に到着すると、スタートした点野に送り返すための車とカヌーを笠置に持ち帰るトレーラを毛馬回送しておかなくてはなりません。毛馬に到着と夕方19時でした。駐車場に車を止めるとすぐに点野に引き返しです。ここで今日の出発の準備です。淀川の下流は営業船が頻繁に往復するのでエンジン付きの救助艇と同じくエンジン付きのガイド艇が前後について運行しなければなりません。その船の組み立てをしなければなりません。通常より準備に時間がかかるのです。21時過ぎに完了です。続々と皆さんが集まります。全員がかなりしっかりした雨対策をした服装です。そして防寒対策も行き届いているようです。これだけ雨が降り続くと、中止すべきではないかと参加者から声上がるのではないかと想像していたのですが、誰一人からもそういった弱気の声は聞こえませんでした。開会あいさつで、お昼の弁当は陸上ではなく、カヌーに乗ったままで取ることもありうるので弁当を忘れずにと注意がありました。総勢19艇が順次出発。雨天でしたが、風は東からの追い風でした。悪天候なので遅れるのではないかと予想していましたが、13時10分には毛馬閘門に到着、係員の指示に従って閘門に全員入りました。水位を調整して前の水門が開くと目前に大川が広がりました。14時過ぎにゴールの桜ノ宮浜に到着しました。ここで大阪の河川レンジャーが100人の出迎えのカヌー教室でしたが、悪天候で中止となって少し残念でした。三日目も2歳と4歳の幼児二人が雨の中元気に下りました。少し荒っぽいなと思いましたが、その心配はとりこし苦労というようでした。雨の中のカヌー下りご苦労様でした。4回目も無事に終了しました。

●朝市 27日 8時から雨中での出店となる

里山の会からは森島、大村、澤江、吉村の4人で行いました。そこそこの雨が切り目無しに降り続けました。品物を並べる場所がどうなることかと気をもみましたが、頃合いの屋根が玄関にありました、出店者が分け合って雨をしのぎ野菜を広げました。お客さんの出足にも心配しましたが、スピーカーでの案内が響き渡るとお越しになって、見ているまもなく品薄になりました。この日は準備する品物がいつものとは少し多めでしたので売れ残りでしたが、100円コーナーで完売できました。

●ミカン農家収穫ボランティア12月3日(土)

JR多賀駅9時30分集合 12月になると恒例のミカン農家への収穫ボランティアです。去年は豊作の順番で採りきれんだろうかと心配しましたが、今年是不作裏作と言われています。訪ねてみないと実態がわかりませんが、大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。人手が多いと作業がはかどります。お手伝いをお待ちしています。

●里山農園 教育棟の改良

床板の回収改装を小川さんと検討 さらに多面的に使いやすさを目指します。床板を設置して3年目になります。徐々に板の目も粗くなって少しささくれ始めました。今板の表面を滑らかにしておくとなら、耐久性がさらに維持されるとみて研磨と塗装を検討しています。できることなら、新年初事業の七草摘みと七草粥に間に合わせ、新装開店と行きたいものです。何よりも板の表面の研磨の度合いに仕上がりが具合が決まります。ぜひとも多くの皆さまの方々の手で仕上げてもらいたいものです。お手伝いにお越しく下さい。

●週刊ニュース新年号は記念すべき650号

ホームページ連続更新650回(実質はホームページの開設は13年前)となります。結成20年の最大の快挙です。ことはそれだけではありません。印刷が出来上がったニュースをほとんどその日のうちに各戸へ戸配されているのです。会員の皆さんにできるだけ早くお届けしよう。郵送では経費が高つくので手配りを行いましょと継続されているのです。里山の会ではいろいろ弱点もありますが、会の発展を願って、会員一人ひとりを大切にしようという気持ち、経済的な負担軽減にも役立てようと献身的なお手伝いが650回の継続を迎えます。里山の会はこのように多くにお皆さんのご協力によって里山の会は支えられているのです。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

●河川基金の助成金申請を行う

昨年に引き続き申請を行いました。8月19日(土)御幸橋に完成する淀川三川合流センターで「京都府こどもの水辺交流発表会」開催予定を対象とした助成金申請です。この基金を使って近畿二府四県の子どもたちの日頃の活動発表や交流を10年間10回開催されてきました。これまでに小林慧人君や北野大輔君、橋口君、福山君、中榮君らの若手活動家を育て上げてきました。今回10回目の「近畿子どもの水辺」発表交流会が2017年2月4日(土)に神戸市での開催をもって最終回となりました。その効果や役割は大変大きなものでした。そこで里山の会では淀川の三川合流地に淀川三川合流センターの実現を記念に京都府の子どもの水辺の開催を相談しました。開催にあたっては経費の確保が第一なので11月30日締め切りの河川基金への申請を行うことになりました。申請がパソコンでの方式に変更されたので、IDやパスワードの獲得から始まりです。これを使って申請書と呼び出すことになります。なれない前作業をこなすのがひと際大変です。一回では開いてくれませんので何回も何回も打ち込みを繰り返さなくてはなりません。私の能力ではとても無理だと幾度もあきらめの瀬戸際に立たされました。非常に苦労しました。申請書の書き方にも悩みました。30日の18:00締め切り直前に送付にこぎつけました。まさに精も魂も使い果たしてしまっただけです。とりあえず提出できたことを、お知らせしておきます。ご援助いただいた皆さんありがとうございます。弱音を吐くものではありませんが、このニュースを書くのも手がつかず、午前6時から最後のところを、やっとこさ書き終えました。